

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

<b>事業名</b>	独立行政法人国立科学博物館施設整備に必要な経費	<b>担当部局庁</b>	生涯学習政策局			<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成13年度～平成24年度	<b>担当課室</b>	社会教育課			社会教育課長 坪田 知広		
<b>会計区分</b>	一般会計	<b>政策・施策名</b>	政策目標1 生涯学習社会の実現 施策目標1-2 生涯を通じた学習機会の拡大					
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	独立行政法人通則法第46条	<b>関係する計画、 通知等</b>	生物多様性国家戦略(平成22年3月16日閣議決定) 科学技術基本計画(平成23年8月19日閣議決定)					
<b>事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)</b>	独立行政法人国立科学博物館の設置する博物館施設の整備充実を図るため、科学博物館が行う博物館施設の整備に要する経費に対して補助を行い、もって自然科学及び社会教育の振興を図る。							
<b>事業概要 (5行程度以内。 別添可)</b>	国立科学博物館の地球館I期展示は、オープン以来13年が経過し、展示の陳腐化、設備の老朽化が問題となっている。そこで、地球環境の問題、生物多様性など社会的に関心の高いテーマに関する展示を更新するとともに、幼児などを含む家族連れが安心して博物館を楽しむことが出来るスペースを整備し集客力を高める。同時に、修学旅行、団体見学の増加に対応出来るようなオリエンテーション機能を持つスペースを整備するとともに、来館者に安全で快適な観覧環境を提供するために老朽化した設備を更新する。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-		
		補正予算	-	-	2,865	-		
		繰越し等	-	-	△ 2,865	2,865		
		計	-	-	-	2,865		
	執行額		-	-	-	-		
執行率(%)		-	-	-	-			
<b>成果目標及び成 果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	改修を行う箇所(フロア・設備)数		成果実績		-	-	0	8箇所(フロア・設備)の改修
			達成度	%	-	-	0	
<b>活動指標及び活 動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	改修を行う箇所(フロア・設備)数		活動実績		-	-	-	-
			(当初見込み)		( - )	( - )	( - )	( 8箇所 )
<b>単位当たり コスト</b>	358百万円(円/件)		算出根拠	予算額 2,865百万円 / 8箇所				
平成25・26年度予算内訳	<b>費目</b>	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	独立行政法人国立科学博物館施設整備費補助金	-	-	※平成24年度限りの経費(繰越額を除く)				
	計	-	-					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は、「地球環境問題、生物多様性」という地球規模の今日的課題について、社会に向けて理解認識を深める上で優先度が高い必要な事業である。また、公共上の見地から確実に実施されることが必要な事業であり、国が実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先の選定は、国立科学博物館会計規程等に則った適切な手続きに基づいて行っており、選定の妥当性や競争性を確保するとともに単位あたりコストの削減に努めている。また、補助金の支出に際しては、費目・用途の内容を厳正に精査しており、支出の合理性・必要性について適切に確認をしている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	国内唯一の科学系・自然史系博物館である国立科学博物館の展示機能、来館者サービスに関する設備を充実する事業であり、他の手段と比較して実効性の高い手段である。また、改修内容については地球館Ⅰ期展示改修にかかる調査研究を踏まえ、適切な成果目標を立て行われ、達成度の向上を図ることになっている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>本事業は、オープン以来13年が経過し、展示の経年劣化が進む地球館Ⅰ期展示について、地球環境問題、生物多様性など社会的に関心の高いテーマに関する展示を更新することで、地球規模の今日的課題に関して、その危機的現状や社会的意義、保全活動について、社会の理解、認識を深めるものであり、事業目的にかなうものである。併せて幼児などを含む家族連れが安心して博物館を楽しむことができるスペースを整備し、幅広い年齢層の人々が楽しみながら科学に親しむことのできる拠点を構築することや、観光客の流れを創出し、地域の活性化を図ることは、広く国民のニーズに応えるものである。なお、自然科学及び社会教育の振興を図る本事業は、文部科学省の責務である。また、平成24年度限りの経費となっているが、予算を平成25年度に繰り越しているため、早期執行に努めるべきである。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
<p>独立行政法人の中期目標等に沿って計画的に施設整備を実施していく必要がある。なお、本事業に係る予算については全額が平成25年度に繰越されていることから、適切な予算管理のもと、早期執行に努めるべきである。</p>						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
—						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	0044	平成23年	新23-0011、復興-0012	平成24年	0068	

## 25年度へ全額繰越し

※平成24年度においては執行実績はないものの、平成25年3月5日付けで交付決定済となっている。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り  
先が何を行っている  
かについて補  
足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	該当なし				
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出予定額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2	該当なし				
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					